

働くとは… 中2

ステップ①事前学習

2年生14人は11月5日、8日、9日の3日間、美山町内外の12の事業所に分かれ職場体験学習に取り組みました。事前学習として、地域コーディネーターが講師となり職場体験や将来仕事に就いたときに大事なことを、経験談を交えながら話をさせていただきました。

生徒が多様な職場を経験できるように、多くの職場に受け入れをお願いし、22の職場に受け入れていただけることになりました。生徒はその中から「職場紹介票」などを参考に希望する職場を選び、生徒自らが希望先の事業所に電話をかけて、体験の受け入れをお願いし、体験先の職場を決めました。

体験中は、写真からも伝わってくるように、どの生徒もはつらつとして、真剣に仕事に取り組んでいました。受け入れ先の方も生徒を大切に思っていることが強く感じられました。

職場体験を通して何を学ぶ？

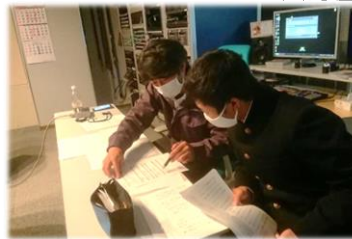
ステップ②体験学習



ショップ21



美山郵便局



南丹市情報センター



みやま保育所



河鹿荘



美山郵便局



美山牛乳工房



江和ランド



河鹿荘



美山興業



大野駐在所



美山サラダ館

ステップ③事後学習



公開授業の様子 グループ発表

11月30日、事後学習として、職場体験でお世話になった方から6名の方を講師として迎え、職場体験で学んだことをグループに分かれて発表し講師の方からコメントをいただきました。グループワークでは、生徒は職場体験を終えて「働くことに向けて、中学校生活でやりたいこと、できること」、講師は「これからの時代を生きる美山中学校生に身につけてほしいこと、期待すること」について討議し発表しました。多くの講師が挨拶から始まるコミュニケーション力の大切さを強調されていました。生徒は体験を通して「働くこと」に対する考えが深まり、将来のことを考えながら勉学にはげむ良い機会だったと思います。

コロナ禍にもかかわらず、職場体験を快く受け入れて頂きました事業所の皆様に感謝申し上げます。

大杉

中1

が立ち並ぶ原生の森、佐々里峠から芦生へ



1年生は10月20日、芦生の森へフィールドワークに行きました。佐々里峠から尾根沿いに芦生の森へ入り、杉の巨木が立ち並ぶコースです。当日の天候はあいにくの雨模様で、尾根伝いに歩くコースということもあり、風が吹くため、さらに寒さを感じる厳しい条件となりました。この学年の生徒たちは小学生時に芦生を経験していないため、今回が初めての芦生でした。コースもアップダウンのある中級者向けのコースでしたが、体力のある中学生には登りがいのある行程でした。

雨模様で遠くの景色を望むことはできませんでしたが、雨に

ぬれ、しっとりとした木肌や苔の表面は、森の中の幻想的な雰囲気を作り上げていました。歩くごとに樹齢数百年の大杉が姿を現し、それぞれの杉の生命力と自然の偉大さに感動を覚えます。生徒たちも大杉が現れるたびに寒さも忘れて、芦生もりびと協会のガイドさんの話に聞き入りました。



ドラゴンと名付けられたトチの木



次々と現れる杉の巨木

美山のまちじゅうを **花** いっぱいに!! 第2弾

中学生が花植え活動をしました。この活動は自分たちが住む美山町、美山中学校を明るい雰囲気のある町・学校にすることを目的に中学生にできるボランティア活動として取り組みました。



1、2年生はプランターに、3年生は和泉バス停の花壇とプランターに、地域の人たちと一緒にビオラの苗を植えました。プランターは「職場体験学習」や「聞き書き学習」などでお世話になった方、事業所そして振興会に飾っていただいています。



3年生



1年生



2年生

生徒たちの学校生活の様子をホームページでもご覧ください

